

キャベツ、ハクサイに利用できる 堆肥入りの一発肥料を開発



開発した肥料「キャベツ一発堆肥入り037」
(窒素10%-リン酸3%-カリ7%-苦土1%-ホウ素0.05%)

施肥体系の比較（キャベツ、ハクサイ栽培）

施肥体系	基肥	定植	追肥
新肥料	開発した肥料 「キャベツ 一発堆肥入り」		なし
慣行	土づくり肥料	高度化成など	高度化成など

開発のねらい

県内のキャベツ・ハクサイ産地では、有機物投入量が不十分で土壌の養分量もアンバランスになっている圃場が見られます。そこで、有機物成分として家畜ふん堆肥を含み、土壌養分の過不足に対応し、さらに追肥も省略できる新しいタイプの肥料を肥料メーカーと共同で開発しました。

新技術の概要

- 開発した肥料は、有機物供給効果の高い牛ふん主体の家畜ふん堆肥を含んでいます。また、土壌養分バランス改善のため、不足がちな苦土・ホウ素を含み、過剰傾向にあるリン酸を少なくしています。さらに、追肥作業を省くために緩効性窒素肥料等を混合し、散布しやすいようにペレット状に造粒しています。
- 年内どり作型のキャベツ、ハクサイ栽培の基肥に開発した肥料を10a当たり250～280kg施用すると、追肥が不要で、高度化成肥料や有機化成肥料の分施肥栽培と同等の収量が得られ、さらに連用によって土壌肥沃度が向上します。

活用場面

散布労力が不足し、家畜ふん堆肥の投入が難しい圃場や、苦土、ホウ素の補給が必要な圃場で活用でき、追肥作業を省くことができます。